

♪♪♪ いい歌、いい町、いい自然 ♪♪♪

No. 460

2001. MAY

広報

あかいけ

5

●平成十三年度予算

一般会計予算は48億899万4千円

●町議会だより

三月定例議会の全議案を報告

●施政方針

今年度の行政施策は?

●上野焼四〇〇年祭に向けて

●春の上野焼陶器まつり

平成13年度 施政方針

本定例会の議案説明に入る前に、平成十三年度の施政方針の一端をのべさせていただきます。

新しい世紀、二十一世紀を迎えて社会を構築することは、地方自治体にとって最も重要な課題であります。

しかしながら、我が国の景気・経済は未だ不透明で、私達を取り巻く環境もまた、厳しいものがあります。

赤池町は自主財源が乏しいなか、介護保険の実施、少子・高齢化社会への対応、社会福祉施設等の充実、総体的に立ち遅れている生活関連施設の整備、厳しい条件下の農業の振興策等、自主的・主体的な地域づくりのため、各般の政策課題を着実に推進する大きな役割が求められています。

ご承知のとおり、赤池町は平成四年二月十四日に再建団体の指定を受け、十二ヵ年計画で財政の再建に邁進してまいりましたが、再建は順調に推移し、当初計画よりも二ヵ年短縮し、今年中に待望の準用再建団体から脱却する見込みがたちました。

これはひとえに、国・県の指導はもとより、議員各位、町民の皆さんとの多大なるご理解とご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

かえりみれば、この財政再建中の



施政方針を表明する
水永町長。
再建明けの見込みが立った平成十三年度の施政方針は、報道機関など、多方面から注目を集めました。

もとより私は、この十力年間の財政再建を総括し、再び同じ道を歩むことのないよう、初心にかえって、住民の皆さんともども行財政運営に不退転の気持ちで取り組む決意であります。

私は、この再建期間の教訓から基本理念として、個性豊かで創造的活動に満ちた新しい赤池町の将来像を定め、人的資源や地域資源を効果的に活用した「住民参加によるまちづくり」を推進して参ります。

また、農業の振興につきましては、農業基盤の整備に、活力と潤いのあるまちづくりに取り組んで参ります。

最後に当町の伝統工芸「上野焼」は、創設以来二〇〇二年に四〇〇年を迎えることになります。これを機に「上野焼四〇〇年祭」を開催し、県内はもとより全国に発信し、赤池町

は、過大な権利の主張がなくなり、財政の危機感を議会、住民ともども共有できるようになりました。その結果、職員一人ひとりがコストを意識した仕事をし、また住民のボランティア活動も活発化するなど、着実に再建に踏み出すことが出来ました。

十力年で得た貴重な経験は、行政意識の変化であり、また、町民の皆さんが明確な住民意識をもつようになつたことであります。そのことによつて、過大な権利の主張がなくなり、財政の危機感を議会、住民ともども共有できることになりました。そこで、過大な権利の主張がなくなり、財政の危機感を議会、住民ともども共有できるようになりました。その結果、職員一人ひとりがコストを意識した仕事をし、また住民のボランティア活動も活発化するなど、着実に再建に踏み出すことが出来ました。

町立病院の建て替え、子育て支援対策、介護保険制度の円滑な実施、障害者福祉対策等の経営健全化、施設

整備にかかる財政措置など、充分考慮に入れて、機能分担、役割分担をふまえた地域医療体制の充実と社会福祉対策の推進に努めて参ります。

また、産炭地対策、過疎対策、同和対策等失効が予測されるなか、生

活基盤をどのように構築していくか

和対策等失効が予測されるなか、生

活基盤をどのように構築していくか

あう子ども達の育成にあります。地域における教育環境を整備充実し、豊かな心を育む地域ぐるみの教育活動を推進して参ります。

また、農業の振興につきましては、農業基盤の整備に、活力と潤いのあるまちづくりに取り組んで参ります。

最後に当町の伝統工芸「上野焼」は、創設以来二〇〇二年に四〇〇年

を迎えることになります。これを機に「上野焼四〇〇年祭」を開催し、県内はもとより全国に発信し、赤池町

は、創設以来二〇〇二年に四〇〇年

を迎えることになります。これを機に「上野焼四〇〇年祭」を開催し、県

内はもとより全国に発信し、赤池町

は、過大な権利の主張がなくなり、財

政の危機感を議会、住民ともども共有

できるようになりました。その結果、職員

一人ひとりがコストを意識した仕事

を意識した仕事をし、また住民のボラ

ンティア活動も活発化するなど、着実

に再建に踏み出すことが出来ました。

ようろしくお願ひ申し上げ、三月定

例議会の初日にあたり、所信の表明

に変えさせていただきます。

終わりに、赤池町の発展振興の主役は「町民」であることを念頭に、微

力な私ですが、議員各位のお力添え

を賜りながら、職員一体となつて最

善の努力を傾注して参ります。

よろしくお願ひ申し上げ、三月定

例議会の初日にあたり、所信の表明

に変えさせていただきます。

町議会だより

議案

議案12～17号までの平成13年度当初予算は、6・7ページに掲載しています。

議案6号】赤池町財政再建計画変更（平成12年度第3次）の同意について可決。

人事院勧告に伴う給与改定や地方交付税の確定などによる計画変更です。

【議案7号】平成12年度赤池町一般会計補正予算：可決。

既定予算額に伴う給与改定や地方交付税の確定などによる計画変更です。

【議案8号】平成12年度赤池町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算：可決。

既定予算額から歳入歳出それぞれ3億9千391万7千円を増額。補正後の予算額は51億6千135万8千円です。歳入の主なものは地方交付税の確定で国・県支出金です。

【議案9号】平成12年度赤池町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算：可決。

既定予算額から歳入歳出それぞれ409万7千円を増額。補正後の予算額は9億681万9千円です。

【議案10号】平成12年度赤池町立病院事業特別会計補正予算：可決。

既定収入予定額から3千618万7千円を増額。補正後の予算額は8億3千488万3千円です。

【議案11号】平成12年度赤池町上水道事業会計補正予算：可決。

既定収入予定額から4千416万6千円を増額。補正後の収入予定額は2億9千629万8千円です。

【議案12号】赤池町職員の再任用に関する条例の制定について：可決。

一般職の国家公務員給与等の改正および赤池町職員の再任用に関する条例の制定に伴い改正するものです。

【議案13号】赤池町集会所施設設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について：可決。

12支所集会所（過疎対策事業）、常福集会所（鉱害復旧事業・過疎対策事業）の新設のため追加するものです。

【議案14号】赤池町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について：可決。

平成13年4月1日からの特定家庭用機器再商品化法の施行にともない特定家庭用機器廃棄物（家電四品目）

既定予算額から歳入歳出それぞれ754万3千円減額。補正後の予算額は1億2千864万6千円です。

【議案15号】高齢者及び障害者の雇用促進を求める意見書：雇用促進を求める意見書に附託。

【議案16号】高齢者及び障害者の雇用促進を求める意見書：採択。

【議案17号】町道小藤～伏原線道路拡幅に関する請願書：産業建設常任委員会に附託。

【議案18号】町道路線の認定について総延長の変更です。

板入～小浦線ほか3路線の幅員と路線として認定されました。

【議案19号】町道路線の認定について総延長の変更です。

板入～小浦線ほか3路線の幅員と路線として認定されました。

【議案20号】赤池町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について：可決。

既定予算額から4千416万6千円を増額。補正後の収入予定額は2億9千629万8千円です。

【議案21号】赤池町集会所施設設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について：可決。

現委員仲島利昭氏の任期満了にともなう再任について議案が提出され同意されました。

【議案22号】赤池町教育委員会委員の選任について。

現委員仲島利昭氏の任期満了にともなう再任について議案が提出され同意されました。

【議案23号】福岡県自治振興組合規約の一部を変更する規約の協議について：可決。

【議案24号】田川地区水道企業団規約の一部を変更する規約の協議について：可決。

【議案25号】赤池町固定資産評価審査委員会委員の選任について。

現委員上村勲氏の任期満了にともなう再任について議案が提出され同意されました。

【議案26号】赤池町教育委員会委員の選任について。

現委員仲島利昭氏の任期満了にともなう再任について議案が提出され同意されました。

【議案27号】町道路線の認定について総延長の変更です。

板入～小浦線ほか3路線の幅員と路線として認定されました。

【議案28号】町道路線の認定について総延長の変更です。

板入～小浦線ほか3路線の幅員と路線として認定されました。

一般質問

老人ホーム・天郷荘・福祉センターの老朽化問題等に直面しており、医療・保健・福祉の連携を密にするためにも、その施設を複合施設、あるいは集合施設にするか、今後議員の皆さんと充分協議を重ねながら、お年寄りが安心して暮らせる町づくりに取り組んで参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいいたします。

問 平成11・12年度に宝くじ助成金による青少年健全育成事業「ふれあい国内交流」が、町教育委員会と町青少年育成町民会議の主催で行われています。町内6年生30人が大自然の中で、スキーや北国の生活文化を学習し素晴らしい体験と思ふ出ができたのではないでしょうか。ただ、残念なことは、参



次に、本の読み聞かせ運動と読書に親しむための対策についてです。政府は少子化問題に対して、「新エンゼルプラン」を策定し、子育て支援産用環境整備、地域子育て環境整備、教育環境整備、母子子育て相談推進などを行なうとしています。本町においても子どもプラン策定のアンケート調査が行われたばかりです。今、子どもの健全育成のため全国的に読み聞かせや図書館等の整備が広がっています。英語で始まったブックスタート運動について、2月の福岡県議会定例会の中では知事および教育長が青少年アンビシャス運動の一環として、平成13年度から子どもの発達段階に応じた親の関

ついてです。今、世界中の驚異となつてゐるのが薬物乱用です。国連では「21世紀に向け今世紀中に解決を」と呼びかけてきましたが、すでに21世紀になりました。薬物乱用は深刻な社会問題となっています。今日、薬物乱用は子ども達にも及んでいます。筑豊教育事務所の児童・生徒相談室に寄せられた相談件数は前年度に比べて5割以上も増えており、中でもシンナー・や薬物に関するものが3割半急増しています。一般未成年者の件数も増加しています。麻薬覚醒剤乱用防止センターで映、元麻薬捜査官の講演等の活動を行っています。平成12年度

を去年と今年行っています。大変多くの参加希望者があり、補助金等の関係で希望者全員参加ということはできませんでした。「この事業は宝くじ助成金等の助成を受け行っていますが、ご質問にありました地域支援対策事業等で該当する補助制度があれば検討したいと思っていました。補助事業なので同一事業に重複して受けられるかを調査し、もし助成されるのであれば積極的に活用しながら取り組みを進めて行きたいと思います。また、スキー教室となれば遠方者全員参加できるよう実施内容、場所等について関係団体と検討して行きたいと思います。

思っていります。また、ターゲットの取り組みにつきましては、今後関係課と協議を行つて参りたいと思います。

3点目の薬物乱用防止対策でございますが、一昨年町内3校にキヤラバンカーを配置していくだけ、子ども達の意識の中に薬物の恐さ等が充分認識できたのではないかと思っています。

今後も子ども達を薬物から守るために、道徳等の授業の中に取り入れ積極的に推進をしていく様、指導したいと思います。また、子どもから大人まで薬物の恐さを知つていただきため、各種イベント事業開催の中でのキヤラバンカーの活用についても、今後検討して参りたいと思つていますので、よろしくお願い申し上げます。

加できなかつたお子さんのがいたことです。予算等で事業計画が限られたのではないいかと思いま
すが、希望者全員が参加できる
ような計画ができるものかと
いう保護者の声もあります。毎
年スキーリゾートに行かれるのでしょ
うか。平成13年度全国子どもプラ
ン関係事業の中に、体験活動支
援整備事業があり、この中に地
域における子どもの体験活動が
あります。この助成金と宝くじ

わり方や本の読み聞かせの大切さなどの小冊子を作成し、市町村が行う乳幼児検診等で活用するとのことでした。政府も子育て学習のためボランティアの育成に取り組もうとしています。本町にも読み聞かせのボランティア団体がありますが、最近就職等の色々な理由で人員が減少ししつつあるとの事で、どのように補充していくかが、今後の課題だと思います。その点をお聞かせ願います。

に、このキャラバンカーが本町に参りました。上野・市場両小学校5～6年生と中学校全生徒636人、父母28人が体験見学会に参加し、感想文も提出されています。今後、薬物乱用を防止するためにも全町民を対象に開催し、また町主催のイベント事業の開催に併せて、キャラバンカーの見学等を盛り込んではいかがなものでしょうか。この点をお聞きしたいと思います。

2点目の質問であります。現在「ぶらんこ」という読み聞かせのボランティア団体がござります。現在、町内小中学校3校、保育所等にも定期的に訪問していただき、子ども達に良い影響を与えているという現状です。残念ながら様々な事情で会員数が少なくなっていることも承知しています。地域が一体となつた子育てという観点からもボランティアへの支援体制や環境づくりを努めて行きたいと

育ができるでしょうか。町長の施政方針の中でも、価値観を尊重しあう子どもを育成し、学校教育を充実すると言つておられます。そのためにも、学校と地域が一体となつた「開かれた学校づくり」が重要ではないでしょうか。こうしたことから、施設整備面での教育環境の整備が急務だと思いますが、その計画の有無を含めて、今後の対応についてお尋ねいたします。

答（町長）ご承知のとおり、平成3年度から再建団体であつたため、この間の学校整備には遅れがあると認識しています。教育の環境整備は、21世紀を担う子ども達のためにも是非行っていきたいと考えています。今まで悪い箇所だけを整備して参りましたが、こうした状況が今後続くとなれば、大規模改修の必要性があると思っております。今、教育委員会に補助金等の申請をお願いしています。今後、充分に教育委員会や学校PTAの皆様と意見交換を行いながら、市場・上野両小学校の整備に取り組みたいと考えています。過疎計画の中でも平成15年から16年にかけ整備を予定をしていますので、議員の皆様からもご意見等をお聞きしながら、関係機関と充分協議を行い、前向きの姿勢で取り組んできちんとお願いします。

問 町立病院では、現在のところ療養型を取り入れていませんが、なぜ取り入れないのでしょうか。様々な問題があるかと思いますが、病院の中で充分介護ができる体制づくりが必要ではないでしょうか。また、入院患者をベッドに拘束している現状があります。治療のための処置だと思いますが、特別養護老人ホーム等の入居者については開放的になっており、病院としても検討すべきではないかと思います。

看護」。3つ目は「訪問リハビリテーション」です。これらの事業は昨年4月、町立病院に「地域医療部」を設置し、看護婦の名を配置してスタートしたところで、現在40人に利用されています。療養型病床の件ですが、状況から申しますと、入院患者は1日平均51人、このうち5人～7人の人が3ヶ月を超える長期入院となっています。このような現状は、今後も続き、その比率も高くなっていくと推測されます。このことから、療養型病床を導入しなければならないと考えていますが、施設基準の問題で、今すぐという事にはできず、今後新病院建設を計画する中で実行に移していきたいと考えています。

今まで広報、冊子配布等、色々な機会を通じて説明等を行つきました。現実に周知不足であると受け止めています。今後、より分かりやすい制度内容の広報等に努めて参りたいと考えています。最近でも介護疲れにより、悲惨な結果となつた報道も記憶に新しく、孤独高齢者の死後の発見の遅れ等も現実として発生しています。町では平成12年3月に策定した高齢者保健福祉計画の中にもありますように、要介護認定で自立（非該当）となつた方に対し、生活管理指導員の派遣（ヘルパーが訪問し、かかつた費用の1割を利用者が負担）を行つています。また、愛の一聲運動として、日常の安否確認のため、民生委員さんや地区の老人会による声かけ運動も計画中です。

自己負担の軽減措置等の支援対策につきましては、広域連合の構成市町村ということもあり連合議会の協議を待ちたいところです。

問 上野・市場両小学校は、

結果ではないと思います。今日本的に、義務教育は9ヵ年ではなく高校までの12ヵ年であるといふ風潮もあります。将来に向けた環境面だけにとどまらず、充実した教育を実現していくべき

重く受け止めています。今後
子ども達の希望する進路が完全
に保障されるという取り組みを
目指して、私も心機一転努力
して行きたいと思っております
が、議員の皆様のご指導を乞
うます。

答 (町長) 現在 町立病院で
実施している介護保健
ナース事業共、1つは「居宅
対策等もお聞きかせください。

ときは何ともいえない気持ちで
した。こうした問題につきまし
ては、家族親族の方々と充分協
議を行いながら治療に当たつて
いただくよう、私からも病院に
申し出をします。

予算の町

平成十三年度の当初予算が三月定例議会で決まりました。

一般会計予算の総額は、四十八億八百九十九万四千円で、前年度と比べて約一億九百万円（二・三パーセント）増えています。

今後も再建期間の教訓を生かし「最少の経費で最大の行政効果」を図ります。

財政再建完了見込みの十三年度予算

平成四年二月十四日に「再建団体の指定を受けて十年間、財政の再建に全力を挙げてきましたが、平成十二年度決算見込みにおいて確実に黒字となるため、平成十二年度の決算をまつて再建団体脱却の見とおしました。

しかしながら、地方財政を取り巻く環境は実に厳しいものがあることから、初心にかえつて、今後も行財政運営に取り組みます。

公共施設維持補修を計画的に実施

再建指定から十年間、維持補修費を極力抑制してきましたので、各種公共施設の老朽化が急速に進んでいます。

平成十三年度、施設補修費を計上が、今後も年次計画に沿って、小中学校などの改良補修を実施します。

学校などの改良補修を実施します。

新しく実施する事業

- ▼各種施設の維持補修
- ▼住民基本台帳ネットワークシステム導入
- ▼戸籍事務電算化導入
- ▼一般コミュニティ宝くじ助成事業
- ▼ピアノ購入
- ▼配食サービス経費
- ▼子どもプラン作成
- ▼新しく統合された田川地区清掃施設組合の経費
- ▼ふれあいバス停留所設置
- ▼小中学校学習用コンピュータ導入
- ▼学校教材備品の充実

投資的経費は十一億七千八百万円

特別会計13年度予算

町には一般会計のほかに、特定の目的のために5つの特別会計があります。

特別会計は、みなさんが支払う保険税や使用料などで運営されています。

国民健康保険事業特別会計

9億7,075万円 (+3.4%)

老人保険事業特別会計

15億691万円 (-1.5%)

住宅新築資金等貸付事業特別会計

1億2,332万円 (-37%)

上水道事業特別会計

2億2,637万円 (-0.6%)

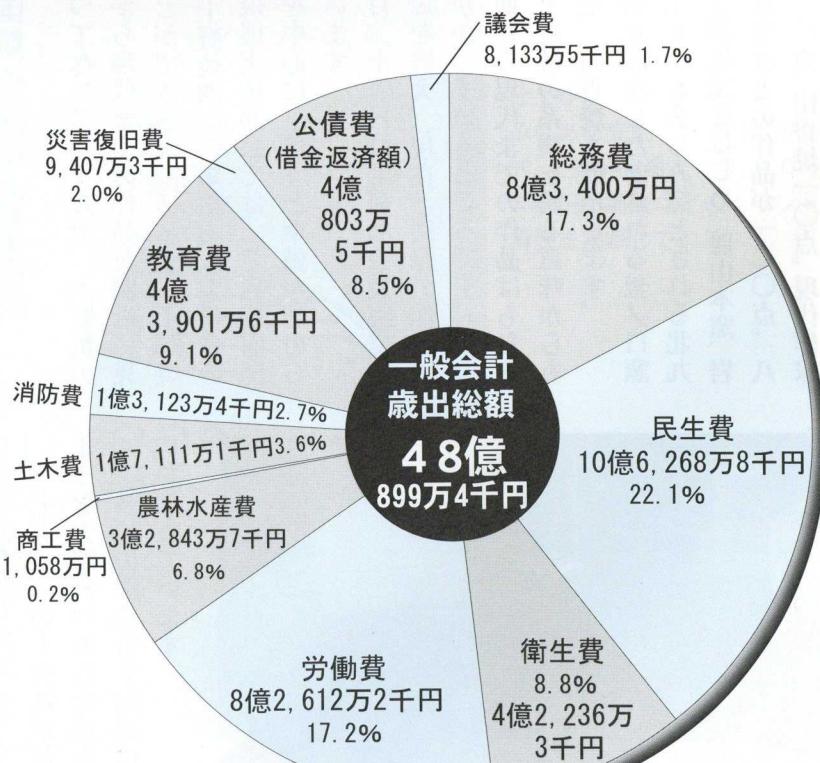
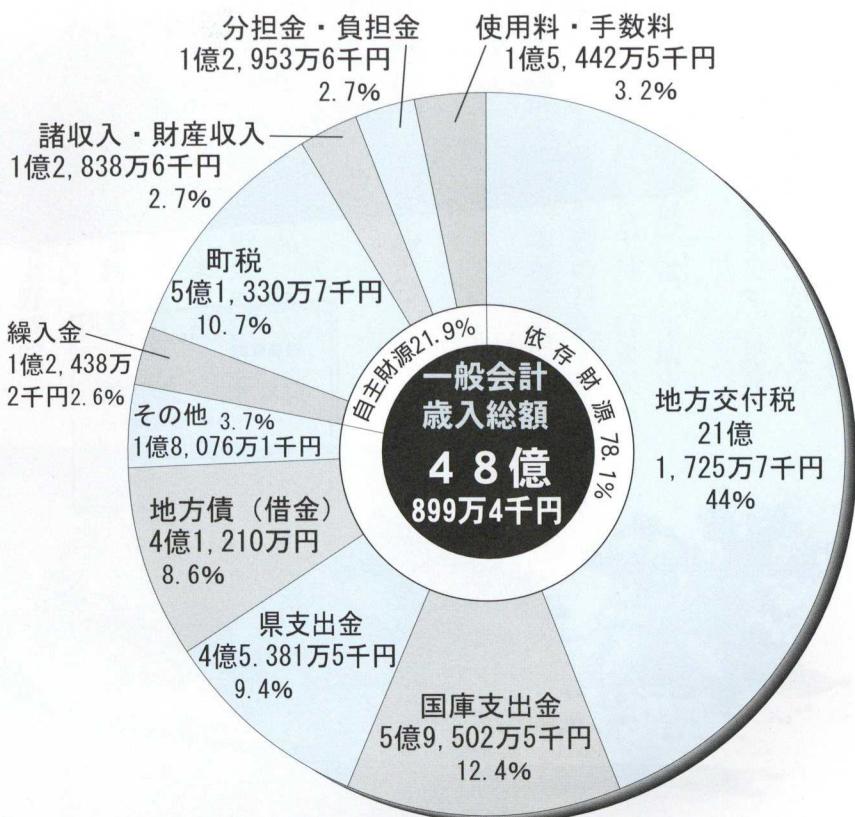
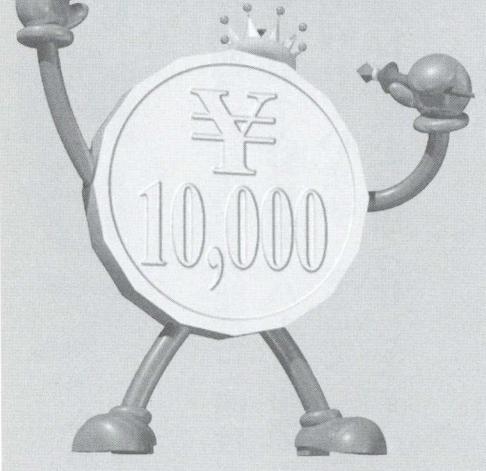
町立病院特別会計

8億2,580万円 (-1.2%)

総計

36億5,315万円 (+3.5%)

() 内は前年比です。



「たいせつに使います！」

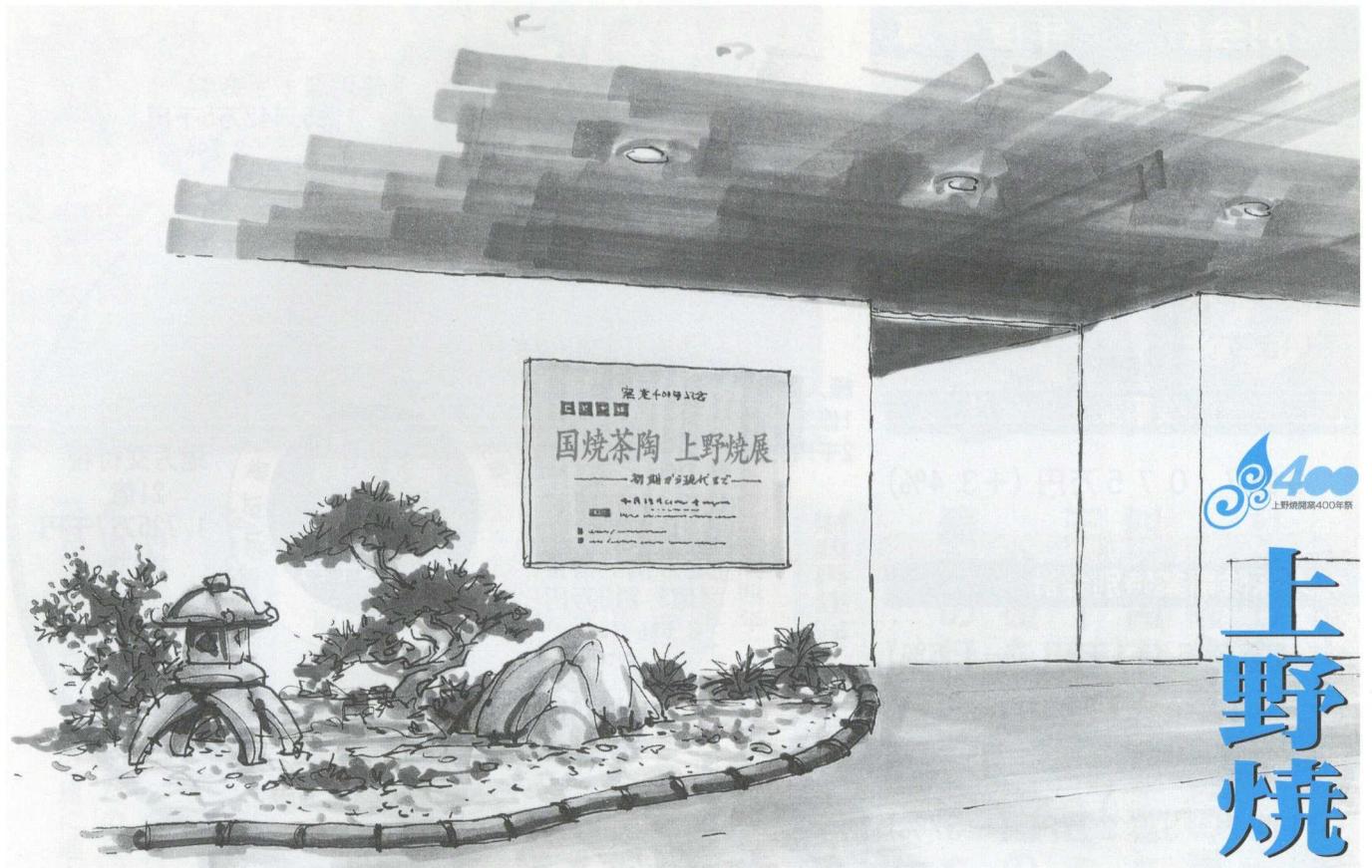
400
上野焼開幕400年祭

上野焼四〇〇年祭に向けて…

いよいよ来年に迫った「上野焼四〇〇年祭」の開催に向け、現在、実行委員会の三つの実施部会（上野焼展・ハード事業・イベント企画）で、準備が進められています。そこで、今回は、上野焼展を中心に、その進行状況をお知らせします。

着々と準備が進む 「国焼茶陶 上野焼展」

三十五点。さらに、上野系古窯から出土された陶片を展示する予定です。一七五点もの上野焼が並ぶ、このような大規模の展覧会は今までにく、多くの関係者や陶芸ファンの期待を集めています。



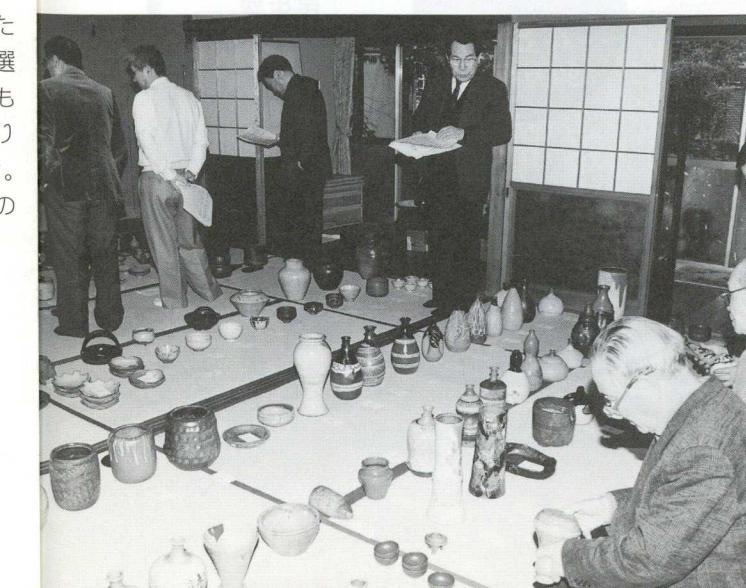
「国焼茶陶 上野焼展」会場入口イメージ図

かつてないスケールで、上野焼の初期から現代までの作品を間近に見ることができる。「国焼茶陶 上野焼展」。上野焼四〇〇年祭実行委員会の会長を中心に、着々と準備が進められています。

二月二十一日に毛利部会長宅で作品選定を終え、現在、図録の作成に取りかかっているところです。

初期から現代までの作品はもちろん、上野焼の系譜を語る意味からも八代焼、田香焼も展示します。

尊楷が開窯したとされる金ノ口窯や細川公のお楽しみ窯とされる北九州の菜園場窯をはじめ、皿山本窯、岩谷高麗窯などの作品が一二〇点。八代焼一〇点。田香焼一〇点。現代作家



◆上野焼400年祭のポスター。「土と炎、人と情熱、未来へのコラボレーション」のキャッチコピーにふさわしい仕上がり。上野焼展・上野の里ふれあい交流会館（仮称）開館式、上野焼陶器まつり、400年祭記念講演などのイベント情報を掲載している。

►毛利部会長宅で行われた「国焼茶陶上野焼展」の作品選別風景。古上野の名品が、足もとにズラリと並べられ、張りつめた空気があたりを包む。初期・中期・現代と、上野焼の陶技の歴史が伝わってきた。

**上野焼四〇〇年祭の
ポスターが完成**

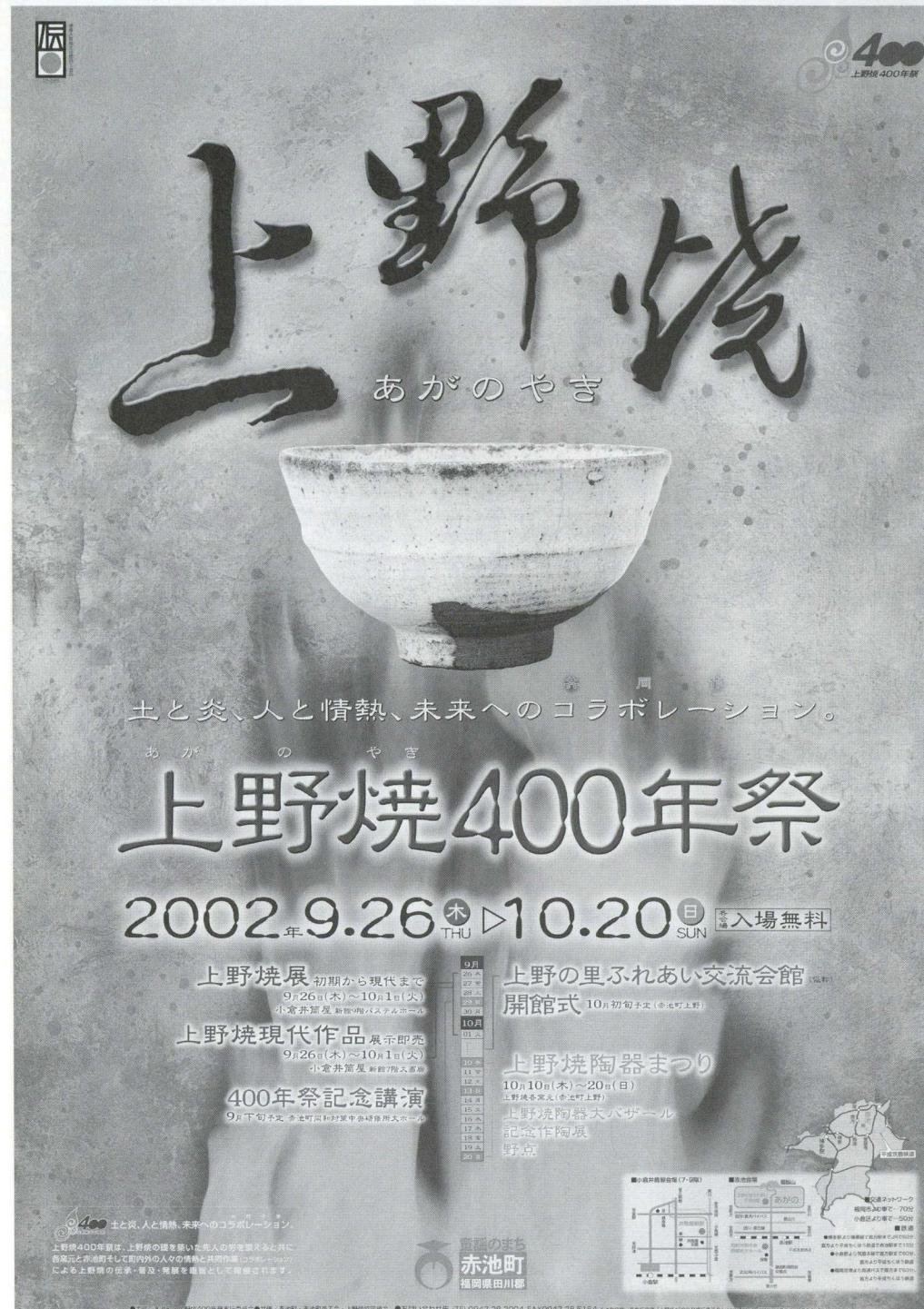
炎の中に古上野の名品、銘「百千鳥」が浮かび上がる上野焼四〇〇年祭用のポスターが完成しました。このポスターが、各地で張られる「いよいよ」という気持ちが高まります。

「国焼茶陶 上野焼展」は、平成十四年九月二十六日から十月一日までの期間、小倉井筒屋九階のパステルホールで開催します。みなさんご期待ください！

来年九月から開催する上野焼四〇〇年祭。「まだ先のこと」と思われるが、その準備はいま山場を向かえている状況です。「上野の里ふれあい交流会館（仮称）」の建設も今年度を予定しています。

「広報あかいけ」では、上野焼四〇〇年祭に向けての取り組みを随时お知らせしていきます。

みなさんのご協力と参加を得ながら町全体の共同作業（コラボレーション）で、上野焼四〇〇年祭を祝い、成功させましょう。



上野焼陶器まつり

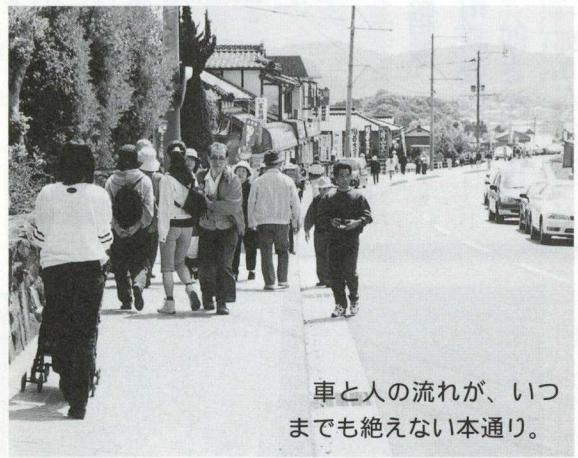
四月一〇日～一二日の三日間、春の上野焼陶器まつりが開催されました。陶芸ファンやご家族連れのみなさん約一万人が参加。伝統を感じさせる趣深いやきものに親しました。



多くの人出でにさわらメイン会場



◆日頃使う品とあって、お客様の選ぶ視線は真剣そのもの。各窯元が二割引程度で販売。陶器まつり実行委員会のチャリティー商品や特価品など、掘り出し物やお買い得品も人気を集めた。



車と人の流れが、いつまでも絶えない本通り。



▼焼きそば、お好み焼、焼き鳥、唐揚げなどの食べ物や、ジュース、ビールなどの飲み物のほか、野菜・果物など、広場だけにとどまらず、沿道にも露店が出て賑わった。



◆「大当たり！」皿・壺・湯飲みなど、幸運な人がお持ち帰り。

▼緊張するくじ引きの瞬間。はずれの白玉が出るたび、「残念！」の声が会場にひびく。



◆「それは楽しみですね。どうぞ、上野焼四〇〇年祭の情報を関東の方にも流してください。関東

Aさん「ところで、来年は上野焼四〇〇年祭ですよね。どういう催しがあるのですか？」
これはいい質問だと思いながら、「まず今年度中に上野の里ふれあい交流会館（仮称）の建設が行われます。それにともなって、国道などに案内表示板を設置します。記念碑も建てます。来年九月から国焼茶陶上野焼展を小倉井筒屋で開催します。陶器まつりはもちろん、記念講演・親子の記念作陶・日韓交流事業など、そのほか、様々なイベントを現在企画中です」。

Aさん「それは楽しみですね。どうぞ、上野焼四〇〇年祭の情報を関東の方にも流してください。関東

Aさん「とにかく、来年は上野焼四〇〇年祭ですよね。どういう催しがあるのですか？」
これはいい質問だと思いながら、「まず今年度中に上野の里ふれあい交流会館（仮称）の建設が行われます。それにともなって、国道などに案内表示板を設置します。記念碑も建てます。来年九月から国焼茶陶上野焼展を小倉井筒屋で開催します。陶器まつりはもちろん、記念講演・親子の記念作陶・日韓交流事業など、そのほか、様々なイベントを現在企画中です」。

Aさん「それは楽しみですね。どうぞ、上野焼四〇〇年祭の情報を関東の方にも流してください。関東

といわば全国にもね。せっかくの記念すべき祭典ですから、わたしたちも参加したいですし……」

「そうですね。この機会により多くの人に上野焼を知つていただきたいですね」。

Aさん「それじゃわたしたちはここで失礼します。来年上野焼四〇〇年祭でお会いしましょう」。

にこやかな表情のAさんご夫妻。

郷土の伝統的工芸品「上野焼」は、お二人のような愛陶家の根強い人気に支えられているのだと感じました。最終日、上野焼陶器まつりは例年よりも多い六千人の人出で賑わいました。

「いやー良かったです。昨日は雨だったのですが、今日はこんなに良い天気に恵まれホッとします。毎年、上野焼の陶器まつりが楽しみで、こうして夫婦で目の保養にうかがうんですよ」。

はるばる神奈川県から陶器まつりのために、毎年上野を訪れるAさんご夫妻。陶芸ファン歴二十五年という五十歳代の仲むつまじいお二人です。二十二日の日曜日、メイン広場でお会いしました。

お楽しみのところ、ご迷惑かと思いましたが、ちょっと質問させていただきました。

上野焼の魅力は、どういうところですか？

Aさん「ひとことで言うのは難しいのですが、茶陶らしい奥ゆきのある何ともいえない上品さが感じられます。わたしは、なかなかムダなものがいるシンプルなやきものが好きですね。各窯ごとに個性豊かな作品が楽しめる点も、大きな魅力の一つだと思います」。

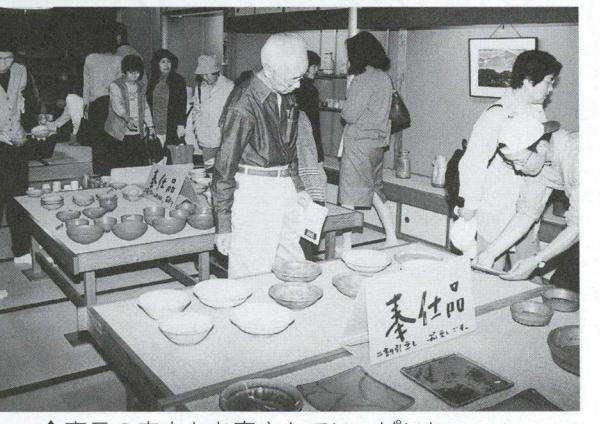
なるほど…さすが愛陶歴二十五年。

やきものの特徴をよくご存じです。

Aさん「さあ、上の窯元さんの所に行きましょうか」。

「巡回バスが出ていますけど、乗りませんか？」

Aさん「バスも良いんですけど、こうして自然を感じて、風景を見ながら歩くのがまた良いんですよ。都会では味わえませんからね。これも楽しみの一つなんですね…」。



↑窯元の店内もお客さんでいっぱいに…。

咲いた咲いた400本のチューリップ



現在、赤池中学校は「開かれた学校」を目指して取り組んでいます。

4月12日には市場保育所と赤池保育所の園児たちが、園外保育で遊びにきました。

今年で3年目を迎える400本のチューリップは、子どもたちを待っていたかのように、見事な花を咲かせていました。

暖かな日差しと満開のチューリップに包まれ、園児たちは愛情弁当を広げ、おいしい昼食を楽しみました。



五百人が参加しています。プログラムも子どもからお年寄りまで、より多くの人が参加できるよう検討され、レクリエーション感覚の種目へと工夫されています▼心地よい行楽シーズン。車で遠出もいいですが、五月晴れの青空の下、鮮やかな芝生を目の前に町民グランドで、さわやかな汗を流してみませんか▼第四回赤池町民体育祭は五月二十日前九時三十分から町民グラウンドで開催されます。

旋律

MELODY
若葉がみずみずしい季節になりました。

▼町の最大規模のスポーツイベント「町民体育祭」。産声を上げてから今年で四十歳を迎えます▼町民体育祭は、

昔、炭坑の運動会から発展し、保育園中心から地域主体の体育祭へと変化していくました。会場も高尾の光林寺付近広場から赤池橋下河川敷、そして昭和五十三年に完成した町民グラウンドへと移り変わりました▼多い年には五千人以上の人人が参加したという町民体育祭。今でも例年二千五百人が参加しています。プログラムも子どもからお年寄りまで、より多くの人が参加できるよう検討され、レクリエーション感覚の種目へと工夫されています▼心地よい行